

アメリカ合衆国

ジョセフ・ロビネット・バイデン・ジュニア大統領 閣下

貴国におかれまして、2020年11月、核爆発を伴わない臨界前核実験を行ったとの報道に接しました。

このような行為は、世界の核兵器廃絶を求める国際世論に逆らう行為であり、2017年7月、国連本部において国連加盟国の6割を超える122か国の賛成で採択され、2021年1月22日に発効する「核兵器禁止条約」に反します。被爆者をはじめ核兵器廃絶を求める全世界の方々の願いに背く行為であり、断じて許されるものではなく、ここに強く抗議の意を表します。

宝塚市は、1989年3月に「非核平和都市」を宣言し、毎年多くの市民と共に戦争や核兵器のない平和な社会づくりを進めており、人類史上唯一の原爆被爆国として、核兵器の恐怖を身をもって体験した国民として、尊厳ある命を無差別に大量に奪う核兵器が使用されないよう訴えてきました。

閣下におかれては、広島・長崎における原爆の惨禍をあらためて思い起こされ、我が国をはじめ世界中の多くの人々の核廃絶に向けた真剣な取り組みや、痛切な願いを心に留め、今後一切、人類を滅亡へと導く核に関する実験を中止するよう強く求めます。

2021年1月21日

日本国 宝塚市長 中川智子

